

研究課題名「テモゾロミド併用放射線療法の悪心・嘔吐に対するセロトニン受容体拮抗薬の効果」に関する情報公開

1. 研究の対象

2010年1月1日～2016年12月31日に当院でテモゾロミド併用放射線療法を受けられた方

2. 研究目的・方法

テモゾロミド併用放射線療法は悪性神経膠腫患者が腫瘍摘出後に行う標準療法の1つである。テモゾロミドは各種ガイドラインで中程度催吐性リスクに分類されており、悪心・嘔吐を経験する患者も少なくない。一方、経口抗がん薬の制吐療法には確立された方法はなく、適切な制吐療法の開発が必要とされている。我々は、以前よりテモゾロミド併用放射線療法における予防的制吐薬として、最初3日間のみセロトニン受容体(5-HT₃)拮抗薬を使用してきた。それ以後は予防的投与を行わず、悪心が発現した場合、多くは5-HT₃拮抗薬を再開するなどの対応をとってきた。今回後方視的に、悪心が発現した場合に追加した5-HT₃拮抗薬の効果を検証することにより、テモゾロミド併用放射線療法における5-HT₃拮抗薬の有効性を検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：テモゾロミド内服状況、5-HT₃拮抗薬使用状況、悪心・嘔吐の発現状況等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

しかしながら解析終了後または学会・論文での発表後には、データを削除できないことがあります。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院薬剤部・熊倉康郎

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話：052-741-2111

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院薬剤部 山田 清文